

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	06 03 03	中期総合計画主要施策番号	2-06	担当課	部・課	商工労働部 経営支援課	
事業名	高齢買物弱者支援モデル事業				内 線	2959	
					E-mail	keieishien@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H23 ~	根拠法令等	「生活必需品買物環境実態調査」				
実施方法	商店街団体等民間事業者に委託して実施					国庫・県単	県単独事業
事業の概要等	目的 (必要性)	・移動手段を持たず、日常的な買物に支障を来している「高齢買物弱者」の増加が社会問題化しつつある中、高齢者の買物環境の改善とともに、地域商店街等において高齢者を顧客とする新たな経営形態の創出に資する事業の実証を行うことにより、買物弱者支援のための事業モデルの構築を図る。					
	対 象	商店街等を利用する高齢者、商店街等で事業を営む者					
	目指すべき姿	移動手段を持たない高齢者を対象とした移動販売等の事業の実証を行うことにより、商店街等における新たなビジネスモデルを構築し、身近な買物場所である商店街等の再生を図る。					
	事業内容	・移動販売等の事業の実証を商店街団体等に委託 （委託料上限：1,000千円、実施力所数：3カ所） ・支援委員会による助言 有識者による委員会を設置し、実施事業に対して助言等を行う					
事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・委託料：3,000千円(3ヶ所) ・報償費：190千円(モデル事業支援委員会委員謝金) ・旅費：32千円(モデル事業支援委員会委員費用弁償)
	最終予算額 (A)		千円		3,222	3,222	
	決 算 額 (B)		千円		3,222		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円		3,222	3,222	
	概 算 人件費	従事する職員数	人		0.20	0.20	
		概算人件費 (C)	千円	0	1,652	1,652	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	0	4,874	4,874	
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (効率指標 算出式) 事業費/事業実施力所数
	事業実施(活)		カ所		3	3	
	支援委員会の開催(活)		回		3	3	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 事業実施力所		千円 /件		1,624	1,624	
事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	・県内3カ所で買物弱者を支援するための事業を実施する。			・中山間地及び中心市街地を含む3地域において、受託者である阿南ショッピングセンター協業組合、岩村田本町商店街振興組合、(株)今井恵みの里において、利用者送迎、宅配、移動販売等の事業の実証が行われた。 ・事業に対する助言等を行うための支援委員会を3回開催した。			b 期待どおり
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・高齢化や人口減少の影響により、身近な商店が廃業・撤退し、移動手段を持たない高齢者が日常の買物に支障を来している。 ・一方、商店街にはこうした課題への対応が求められており、商店街等における高齢者を顧客とする事業モデルの構築を図る必要がある。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)		・買物弱者を対象とする事業は採算性を確保することが難しいことから、事業の定着に向けては、行政や地域の団体等との連携を図っていく必要がある。				
	特記事項						